

家造りに繋がるもの

家造りに必要不可欠なものが、大きく分けて『人』『物』になるかと思えます。その『人』の中でも実作業を行う職人さん、そんな職人さんが普段使う道具についてご紹介したいと思います。



左官屋さんから鋺(こて)を拝借。一括りに鋺といっても種類は様々。土間の仕上げによく見る金鋺や下地均しなどに使われる木鋺、剣先型や角型など形状から本焼・ステンレスの材質、サイズまで多種多様です。

ステンレスの金鋺は主に上塗り用に、コンクリートの均し(押さえ)ならこの鋺など、用途に応じて使い分けられており、それ以外にも普段は見えないような形状の鋺も時々使うとのことでした。写真に撮ったものでも全体の1/4にも満たないそうですので、その数には驚きです。



また、剣先型の先端や両側面などは、使っていくうちに丸まったり歪んでくるようで、時々研磨して手入れしているそうです。聞けば先々代から使われている鋺もあり、当たり前のこととはいえ道具を大事にしていることに感心させられました。

まだまだ知れば知るほど深そうな世界。更に掘り下げて尋ねてみると面白そうな気がします。(建築部 上村)



「今、人間が見直すべきこと」

これは、2012年6月20日リオデジャネイロで開かれた国連会議、通称リオ会議において国連持続可能な開発をテーマとした中で、当時のウルグアイ大統領 ホセ・ムヒカ氏のスピーチからの言葉です。

皆様もご存知かもしれませんが、ムヒカ氏は世界一貧乏な大統領とも称され、資産の80%を寄付し、在任中の給与も財団、政府へ寄付、月1000ドルで質素な暮らしをしていたといえます。

このムヒカ大統領のリオ会議でのスピーチが、今でも深く印象に残っており、現在日本の置かれている、政治、経済、生活環境問題を折に触れ感じる度に思い起こされます。



資本主義社会の中、消費大国を極め無限の消費と更なる発展を求める我が国の社会経済。

大統領は言います。

昔の賢明な人の言葉を借りて「貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と。

本当の豊かさとは何でしょう？

私達のすぐ隣にある様々な社会環境問題も「豊かさとは何か」をもとに見極めていくことで、見えてくるものがあるのではないのでしょうか。 (営業部 佐藤)



チルチンびとマーケット開催のお知らせ

昨年の10月にいくとびあさんにて開催し、大変好評を博しました『チルチンびとマーケット』。この度ノモトホームズモデルハウスを会場とし、来たる5月22日(日)に再び開催することとなりました！規模は若干小さくなりますが、前回同様出店して下さるお店、そして今回初出店となるお店と、全部で13店舗の方々にご参加くださいます。また会場となる竹尾モデルハウスは、自然素材の魅力に溢れた心地よい空間や広い庭を持ち、ご来場の皆様には街中や商業施設とは違ったアットホームで安らぎのある雰囲気を感じていただけたと思います。

各店舗さんの趣向を凝らした出展やこだわりの品々をぜひ実際に目で見て肌で感じてみてください。

食べ物・様々な雑貨類・生活道具・陶芸品・洋服・アロマ・手織りの品からガーデン用品まで、幅広いジャンルのお店が集まります。普段は新潟県内の各地でそれぞれの活動をされている方々ですが、その日1日限りはノモトホームズに大集合です。

詳細は、ノモトホームズHPのイベント情報や、チルチンびと広場のWebサイトにアップいたします。ぜひチェックしてみてください。チルチンびとマーケットに関するお問い合わせは下記までお気軽にご連絡ください。

ノモトホームズ/TEL 025-270-4400

お客様にお越しいただくことで初めて完成されるマーケットです！たくさんの方のご来場を、心よりお待ちしております。

